

2020 年度前期大学入門ゼミ 報告書

わが街のお気に入りスポットを共有する

コロナ禍における遠隔フィールドワーク



後期がはじまり、教室に集合したゼミ生（撮影：渡辺和之、2020 年 10 月 14 日）
SA の 1 人は広島からオンラインで参加している。

阪南大学国際観光学部

渡辺ゼミ

はじめに

国際観光学部教員 渡辺和之

新型インフルエンザの影響で、今年は異例ずくめのスタートとなった。卒業式、入学式は中止、授業開始も5月の連休明け、普段ならおこなわれる入学後のオリエンテーションも何もしないである。そんななかでも、男子2人、女子8人の一年生に、SA (Student Assistant) の2人を加え、今年も大学入門ゼミがはじまった。

当初、大学は5月中の授業を遠隔授業と決めていた。Microsoft Teams を使い、オンラインのライブをする。最初のうちは教員もよくわからないので、5月中には保健室、留学、キャリア教育などのガイダンスを入れておいた。普段は大教室でするガイダンスの資料を各自読み、確認テストをするのである。6月になれば、インフルエンザの季節は終わり、授業も再開できるだろう。当初は楽観的に考えていたのである。だが、5月中旬には、早くも6月末まで遠隔授業の延期が決まった。1年生はお互い顔すらあわせていない。このままでよいはずはない。今年の大学入門ゼミは、そんな緊迫した空気のなか、スタートした。

ともあれ、できるかぎり、例年と同じことを体験させてあげたいものである。第1回目は自己紹介である。Teams の画面でお互いの顔が見えると、緊張感がやわらいだ。第2回は南キャンパスめぐりである。学生は大学に入構禁止、フィールドワークなどの課外活動も一切禁止なので、教員の私がスマホを持って Teams の画面からライブ中継をした。人のいないさみしいキャンパスだったが、何もしないよりはよい。では、次はどうしよう。

そんな時にひらめいたのが、お気に入りスポットの紹介である。みなに交代で自分の家の近くを紹介してもらうことにした。家の近くならフィールドワークにはならないだろう。屋外でちょっと散歩するだけなら、ストレス発散になってよい。屋外では Wi-Fi が通じないこともあるので、ライブでは厳しいかもしれない。写真を数枚撮影してパワーポイントに載せて、Teams で見せればよい。条件は、自宅から徒歩で往復30分以内の場所。できれば、自転車ですっきり行って帰ってこれる場所が望ましい。よくゆく所でよいから、その場所のどんな所を気に入っているのか、写真を見せてその魅力を紹介して欲しい。そんな趣旨の注文を私は学生に指示した。

やってみるものである。学生たちの紹介はどれもおもしろかった。知っているようで、行ったことのない場所がたくさん出てきた。ガイドブックにはあまり出てこないような場所である。しかも、彼らのお気に入りスポットだけある。どこも何度訪れても飽きなさそうな場所である。こういう場所が近くにあるのはうらやましいことである。本人たちにしてみれば、慣れ親しんだ場所であり、別にめずらしくもなんともないのかもしれないが。

ともあれ、まずは、何より、学生たちのレポートをお読みいただければと思う。

鳥取砂丘について

国際観光学部 1 年 上田理湖

1 はじめに

鳥取県には観光可能な砂丘として日本最大の鳥取砂丘がある（写真 1-1）。今回は私の地元である鳥取県の鳥取砂丘について調べた。



写真 1-1. 鳥取砂丘（撮影：上田理湖）

2 鳥取砂丘とは

TOTTORI SAND DUNES TRAVEL GUIDE によると、山陰海岸国立公園は昭和 30 年に国定公園として指定された後、昭和 38 年国立公園に昇格した。また、昭和 30 年には国の天然記念物に指定されている¹⁾。また、日経新聞によると、2011 年 6 月 30 日午後 3 時 10 分頃、鳥取市の鳥取砂丘の砂の中に、白骨化した人骨ほぼ 4 体分が埋まっているのが発見されたという²⁾。

鳥取砂丘の魅力は、「馬の背」と呼ばれる砂の山だろう。一見緩やかそうに見えるが、実際登ってみると、思った以上に時間もかかりきつい。だが、頂上から見える景色は絶景だ。砂丘の彼方には海も見えて、360 度美しい景色をみわたすことができる。「鳥取砂丘にきなんせ」というサイトによると、馬の背の高さは 50 メートル、砂丘の上下の高低差は最高 92 メートルに及び、その規模は日本最大とのことである³⁾。

また、鳥取砂丘ではラクダ乗り体験ができることで有名だ。TOTTORI SAND DUNES TRAVEL GUIDE というサイトによると、砂丘で楽しむアクティビティとして、サンドボード、砂丘ヨガ、パラグライダー、砂丘セグウェイ、ラクダ乗り体験など、普段体験できないような体験が可能だ⁴⁾。実際わたしが訪れた際も、セグウェイやラクダ体験をしている人もみかけた。

3 まとめ

今回、鳥取砂丘について調べてみた。砂丘ヨガやサンドボードなど、地元の鳥取砂丘のことだが、知らなかったことがたくさんあった。砂丘ヨガというのは初めて聞いた。機会があれば、一度体験してみたい。人骨が発見されたことはニュースで知っていたけれど、

江戸時代のものだとは知らなかったので、驚いた。たくさんの魅力がある鳥取砂丘にぜひ
たくさんの人に来てもらい楽しんでもらいたい。

【参考文献】

- 1) TOTTORI SAND DUNES TRABELGUIDE
<https://www.sakyu-vc.com/jp/history/222/>（参照 7 月 29 日）
- 2) 鳥取砂丘から人骨 4 体発見「日本経済新聞 オンライン」（2011 年 7 月 1 日）
https://www.nikkei.com/article/DGXNASDG3005C_Q1A630C1CC1000/（参照 7 月 29 日）
- 3) 鳥取砂丘にきなんせ「馬の背☆おおすりばち」<http://yumag.net/umanose.html>（参照 7 月 29 日）
- 4) TOTTORI SAND DUNES TRAVEL GUIDE <https://www.sakyuu-vc.com/jp/activity/>（参照 2020 年 7 月 29 日）

道後温泉

国際観光学部 1 年 桑名沙依

1. はじめに

私は実家のある松山市道後温泉について紹介する（写真 2-1）。観光シーズンになると、多くの人が入浴するために列を作っている光景を目にする。本レポートでは、道後温泉の魅力を周辺の施設とともに明らかにしていく。

2. 道後温泉と周辺

(1)道後温泉

松山市によると、「道後温泉本は日本最古といわれており、一番の魅力は、日本の公衆浴場として初めて、平成6年（1994）に国の重要文化財に指定されながら、博物館化せずに現役の公衆浴場として営業を続けているところです」とある¹⁾。建物は木造で、石造りの浴室がある。お湯の温度は高めで、ぬるぬるとした肌触りであった。2階と3階は休憩室となっており、入浴後にお茶を飲んだり、松山銘菓の坊ちゃん団子を食べることができる。また、有名アーティストとのコラボやプロジェクションマッピングなどのイベントも行われている。

(2)商店街

道後温泉駅を降りると、目の前にある商店街が道後温泉までを L 字型で結んでいる。昔からあるお土産屋やレトロな雰囲気のカフェ、名産品である今治タオルを扱った店など、約 60 件の商店が並んでいる。距離は 250 メートルと長くないが、どの店も活気があり、十分に楽しめると思う。私は中学生の頃にこの商店街を通学路として利用していた。変わらずある店や、入れかわった店を見ると、時代の流れに寂しさと懐かしさを感じた。

(3)からくり時計

松山市によると、「道後温泉駅前の放生園にある『坊ちゃんカラクリ時計』は、1994 年、道後温泉本館建設 100 周年記念事業の一環として作られました」と述べている²⁾。普段は閉じている時計が、時間になると、音楽と共に小説「坊ちゃん」の登場人物が現れる。この光景は、見ていたいへんおもしろい。30 分に 1 回見ることができ、どの角度から見ても楽しめるつくりになっている。近くにある足湯に入りながら見るのがおすすめである。

(4)宿泊施設

歴史ある旅館から今年リニューアルオープンした現代的なホテルまで、道後温泉だけで 30 軒ほどある³⁾。温泉や食事に力を入れたホテルや、能・狂言を見学できる旅館など、それぞれの宿泊地に特徴があり、ホテル選びも楽しむことができる。

3. まとめ

これまで紹介した場所は昔ながらの建物が多いため、訪れるのは大人が多い。だが、スタンプラリーができたり、秋になると祭りが行われ出店も出るため、子どもたちも楽しむことができる。また、浴衣姿のまま湯かごを持って商店街や街を散策できるため、ゆったりとした雰囲気を体験することができる。温泉が好きな人やのんびり食べ歩きをしたい人におすすめしたい。

【参考文献】

- 1) 松山市役所. “坊ちゃんカラクリ時計”. <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/kankoguide/shitestukoen/karakuri.html>, (参照 2020 年 8 月 10 日)
- 2) 同上。
- 3) 松山市役所. “施設案内”. <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/kankoguide/index.html>, (参照 2020 年 8 月 10 日)



写真 2-1 道後温泉本館（撮影：桑名沙依、2020 年 7 月 29 日撮影）

花園中央公園

国際観光学部 1 年 今井柊翔

1. はじめに

私が地元の紹介として、東大阪市鷹殿町にある花園中央公園を選んだ。理由は、公園内にラグビー界の甲子園と呼ばれ、昨年のラグビーワールドカップでも使用された花園ラグビー場があるからである。しかし、それだけではなく地元民から愛される数多くの施設がある。このレポートでは、花園中央公園の良さと施設を紹介したい。

2. 花園中央公園の施設案内

花園中央公園には次のような施設がある（写真 3-1）。

- ①花園ラグビー場。ラグビー界の甲子園と呼ばれており、全国の高校生が憧れる地である。昨年行われたラグビーワールドカップでも使用された（写真 3-2）。
- ②多目的球技広場。ラグビーやアメリカンフットボールができる天然芝のグラウンド、陸上トラックがあり、地元の中学生や高校生の陸上競技会などのイベントで使用されている。
- ③多目的広場。花園中央公園野球場や多目的球技広場よりも広く、老若男女問わずたくさんの人がランニングやキャッチボール、サッカーなどをして運動している。
- ④複合遊具。様々な遊具が設置された広場があり、小学生など小さな子どもたちが遊べる場所になっている。
- ⑤ドリーム 21。プラネタリウムや滑り台などがある運動広場が館内にあり、幼稚園生が団体でよく訪れる。
- ⑥花園中央公園野球場。スコアボードや内野観覧席がある本格的な野球場である。

この他にも、花園中央公園には毎日賑わっているドッグランなど、数多くの施設がある。

3. 花園中央公園を訪れる人々

花園中央公園では、小さな子供や幼稚園生などがドリーム 21 などの室内施設を訪れているのをよく見かける。私も幼稚園児の時にドリーム 21 に行き、遊んだのを覚えている。老若男女問わずたくさんの人々が様々な目的で訪れ、身体を動かしている。また、今年は新型コロナウイルスの影響で中止になったが、夏にはふれあい祭りが行われ、毎年多くの人が花火などを楽しんでいる。



写真 3-1 花園中央公園（撮影：今井柊翔、2020 年 6 月 15 日撮影）



写真 3-2 花園ラグビー場（撮影：今井柊翔、2020 年 6 月 15 日撮影）

天王寺について

国際観光学部 1 年 加地静希

私の住んでいる天王寺について紹介したいと思う。

まず一つ目は、あべのキューズモールである。あべのキューズモールは大阪市阿倍野区にあるショッピングモールである。ウィキペディアによると、2011 年からあるとあり、比較的新しいビルである¹⁾。いろいろな店が入っていて、スーパーや飲食店、洋服店、ゲームセンターなどがある。渋谷にある 109 などもあり、人気のショッピングモールだ。遊ぶところが多いので、家族連れや中高生に人気な印象がある。尼崎、箕面、森之宮などにもキューズモールがある²⁾。

二つ目は、あべのハルカスである。ウィキペディアによると、あべのハルカスは大阪市阿倍野区にある超高層ビルである。百貨店、オフィス、ホテル、美術館、展望台などがある超高層複合商業ビルである。2017 年にグッドデザイン賞も受賞し、2020 年現在、日本で最も高いビルとされている。ちなみに、建設予算は 1300 億円にものぼり、高さは 300m である³⁾。ホテルはマリオネット都ホテルが入っていて、百貨店なのでキューズモールと比べ、年齢層が高めの方が多いイメージだ。「あべのべあ」と言うマスコットキャラクターがいる。

三つ目は、天王寺 MIO である。ウィキペディアによると、1995 年から営業をしていて、割と昔からあるショッピングセンターである⁴⁾。最近流行っているタピオカ屋さんのゴンチャなども入っていて、前まではあまり活気がなかったのだが、ゴンチャが入ってから活気が戻ってきつつある。本館とプラザ館に分かれていて、どちらにも飲食店や病院、ほぼ全てのジャンルの店がある。スターバックスなどもあり、若者から高齢の方まで幅広い年代の方がいる印象である。

四つ目は天王寺公園（てんしば）である（写真 4-1）。てんしばは最近天王寺公園がリニューアルして新しくできた芝生の公園である⁵⁾。昔の天王寺公園は浮浪者の方などが多く、とてもじゃないけど近寄りがたい印象の公園だったが、リニューアルして、てんしばになってから家族連れやカップルなど、いろんな方たちが利用しやすい公園になった。おしゃれな飲食店もあり、ペットも入れることもできるので、とても活気あふれる公園となった。周りに先ほど紹介したショッピングセンターなどもあるので、遊ぶにはとてもいい場所だと思う。

五つ目は通天閣である。通天閣は、大阪市浪速区の展望台である。ウィキペディアによると、2007 年に国の登録有形文化財に登録された。公式キャラクターはビリケンである⁶⁾。ビリケンの足の裏をこすると、願いが叶うとされている⁷⁾。通天閣の周辺にはビリケンがいっぱいいる。大阪の観光名所として有名だが、地元の人は治安が悪いのであまり近づかない。女の子一人や子供だけだと治安が悪くて危ない場所である。

天王寺は大学の行き帰りに寄ることになると思う。これから天王寺でたくさん大学時代の思い出を作って欲しい。

【参考文献】

- 1)Wikipedia「あべのキューズタウン」<https://ja.wikipedia.org/wiki/あべのキューズタウン>
- 2)Q'sMall <https://qs-mall.jp/>
- 3)Wikipedia「あべのはるかす」<https://ja.wikipedia.org/wiki/あべのはるかす>
- 4)Wikipedia「天王寺ミオ」<https://ja.wikipedia.org/wiki/天王寺ミオ>
- 5)天王寺公園エントランスエリア「てんしば」<https://www.tennoji-park.jp/>
- 6)Wikipedia「通天閣」<https://ja.wikipedia.org/wiki/通天閣>
- 7)Wikipedia「ビリケン」<https://ja.wikipedia.org/wiki/ビリケン>



写真 4-1 てんしば（撮影：渡辺和之、2020 年 10 月 4 日）

大鳥大社

国際観光学部 1 年 田仲有未

1. はじめに

以前から、私は鳳^{おおとり}にある大鳥大社^{おおとりたいしや}に魅力を感じている（写真 5-1）。本レポートでは、その魅力を述べ、共有したいと考える。

2. 大鳥大社の歴史と見所

まず、大鳥大社の始まりについて述べる。大鳥大社のホームページによると、「当社は延長 5 年（西暦 927 年）に完成した延喜式神名帳所載の、靈験特に著しいと言われる名神大社であり、和泉国^{いづみのくに}の一ノ宮であります」と述べている¹⁾。このことから歴史ある神社であることがわかる。

大鳥大社の祭神は、大鳥連祖神^{おおとりのむらじおやがみ}と日本武尊^{やまとたけるのみこと}である²⁾。

古事記によると、東国を平定した倭武命^{やまとたけるのみこと}は三重の能煩野^{のぼの}で病死した。その後、魂が白い千鳥となって天に飛翔した。千鳥は河内の国の志紀^{しき}という所で休んだので、その地に御陵^{ごりょう}を作って鎮座した。その御陵を白鳥の御陵^{しらとり}という。しかし、その地からまた天高く飛翔したとある³⁾。

同様に、日本書紀にも「白鳥はまた飛んで河内に行き、古市邑（大阪府羽曳野市軽里）にとどまった。またそこに陵を名付けて、白鳥陵といった。それからついに高く飛んで天に上った。それでただ衣冠だけを葬った」とある⁴⁾。

大鳥大社によると、白鳥が最初に舞い降りた地が大和国琴引原（現：琴引原白鳥陵）で、次に降りた所が河内国古市（現：古市白鳥陵古墳）である。その後、飛び立った白鳥が最後に留まったのが大鳥の地で、ここに社を建ててお祀りしたのが住吉大社のはじまりだという。境内にある千種森^{ちぐさのもり}は、白鳥が舞い降りた際、一夜にして樹木が生い茂ったのだそう⁵⁾。

古事記や日本書紀では白鳥陵から天に飛翔した白鳥が、最後に大鳥大社に降り立ったと述べている点は、大変興味深く思えた。

私自身大鳥大社に何度か訪れたことがある。大鳥大社には、日本武尊の像があり、見上げるほど高く造られている。また、日本武尊を祀る和泉国一宮であり、全国の大鳥神社および鳳信仰の総本社とされている。だからこそ、運氣上昇の勝ちスポットと地元の中で話題になっている。このことから、大鳥大社は日本武尊を大切にしているのだと感じた。

そして、大鳥大社がある鳳では 10 月に「だんじり」という祭りがあり、そのときには屋台が大鳥大社一面に広がる。地元の人々にとって、この屋台なしでは祭りをしている気持ちにならないほど、この屋台は重要性を持っている。また、年越しをこの大鳥大社で迎えたり、初詣に大鳥大社を訪れたり、この大鳥大社は地元の人々からとても愛されている。

3. 大鳥大社の魅力

以上より、大鳥大社の魅力を述べてきた。今回、ゼミで大鳥大社をみんなに紹介するにあたり、調べてみた。地元に住んでいながら、こんなに古くからの歴史があるとは知らなかった。実際立ち寄ると、境内はとても広く、日本武尊の銅像を見ることができる。大鳥大社では歴史に触れることもでき、その社殿が今も大切に守られている。また、だんじりや初詣などの季節には、多くの人々が大鳥大社を訪れる。この点で、地元の人々にとって大鳥大社は必要な神社である。調べてゆくうちに、大鳥大社の歴史を知って、みんなに伝えたいと思った。

【参考文献】

- 1) 大鳥大社「大鳥大社について」 <http://www.ootoritaisha.jp/taisha/>, (参照 2020 年 7 月 29 日)
- 2) 大鳥大社「大鳥大社について」 <http://www.ootoritaisha.jp/taisha/>, (参照 2020 年 7 月 29 日)
- 3) 中村啓信（訳注）『新版古事記』角川文庫, 2009 年, P366。
- 4) 宇治谷孟『日本書紀（上）』講談社学術文庫, 1976 年, P172。
- 5) 大鳥大社「大鳥大社について」 <http://www.ootoritaisha.jp/taisha/>, (参照 2020 年 7 月 29 日)



写真 5-1 大鳥大社の鳥居（撮影:田仲有未、2020 年 8 月 9 日）

花博記念公園鶴見緑地

国際観光学部 1 年 徳山美和

1.はじめに

私は大阪市内最大の公園である、花博記念公園鶴見緑地について調べた。ここは 1990 年に開かれた花博の跡地を利用して作られた公園である。鶴見緑地を紹介しようと考えたのは、幼い頃からよく行っており、馴染みのある場所のためである。ここは 1990 年に開催された花と緑の万博博覧会（通称：花博）の会場跡に作られた公園であり、当時作られた施設も多く残されている。120ha を超える園地であり、文化系施設やスポーツ系施設・公園系施設・レストラン・売店といった多様な施設が数多くある¹⁾。また、四季を感じられる自然も親しまれる理由である。

このレポートでは、たくさん施設があるうち、私のお気に入りのいくつかを紹介する。

2.施設

(1) バーベキュー場・キャンプ場

人で賑わっており、特に夏休みに多くの人が利用しているように感じる。近くに遊具のある公園や小川があるため小さい子どもも多く見られる(写真 6-1)。デジキューによると、4 月 14 日にリニューアルオープンし機材レンタルを始め、手軽に楽しむことが出来るようになった。以前に比べ用意する手間が省けるため便利である。バーベキュー場は有料で、キャンプ場は無料で利用することができる²⁾。コロナ・ウィルスの対策として、受付時に利用者にアルコールスプレーの徹底をしているそうだ。



写真 6-1：バーベキュー場（撮影：徳山美和、2020 年 6 月 21 日）

(2) 咲くやこの花館

鶴見緑地スマイルパートナーズによると、国内最大級の大温室で世界中の約 5,500 種もの植物が集結している。館の内部では、各種のイベントも開催される。館内には、多目的ホールとしてのフラワーホールを中心部として、その周辺に熱帯から乾燥地帯、高山・極地圏まで、地球上のさまざまな気候帯に生育する植物を配置し、栽培展示している³⁾。1 年中見られるものから、季節のものまで楽しむことができるところが魅力だ。

(3) 乗馬苑

誰もが乗馬の体験やレッスンを行うことのできる施設である。エルミオーレによると、メイン馬場は 13,000 m² と広大で屋内馬場もあるため、雨天でも快適に楽しむことができる。80 馬房の本厩舎、200 頭収容可能な仮設厩舎もあり、競技会に利用できるそう。また、観覧席があるため、レッスン風景や競技会を見ることが可能である。乗馬体験は 30 分で通常料金 3,500 円、大阪市民 2,750 円で利用することができる⁴⁾。私は体験したことはないが、調べてみて、興味が湧いた。

(4) 山のエリア

国際花と緑の博覧会の面影が色濃く残るエリアである（写真 6-2）。53 ヶ国・35 国際機関から出展された 55 の庭園の跡地や、国内外のお客さまをおもてなしした本格茶室のむらさき亭などがある。また、花博開会後に設備されたパークゴルフ場や、自然体験観察園・風車の丘の花壇などがあり、子供から高齢者まで一緒に楽しめるため賑わいのある場所である⁵⁾。このエリアは自転車使用禁止のため、ゆったりとした空間である。また、コスプレイヤーの方が写真を撮る場所としてよく利用している。私はその中でも国際庭園がお気に入りである。知っている国はもちろん知らない国のことまで雰囲気を知ることができる。



写真 6-2：山のエリアマップ（撮影：徳山美和、2020 年 6 月 21 日）



写真 6-3：山のエリアの風車の丘（撮影：徳山美和、2020 年 6 月 21 日）

3.まとめ

実際に足を運んでみて、自然が多く 1 日中楽しめる場所だと感じた。私が特におすすめしたい場所は山のエリアの国際庭園である（写真 6-3）。見て回ること外国の風景を知れることは魅力的だと感じる。また、その一方で、足を運ぶだけでは情報の全てをくみ取れないことがわかった。いつ訪れても四季時折の自然を感じられるため、自然や写真を撮ることが好きな人におすすめしたい場所だ。

【参考文献】

- 1) 鶴見緑地指定管理者 鶴見緑地公園スマイルパートナーズ、「花博記念公園鶴見緑地」

<https://www.tsurumi-ryokuchi.jp/guide/bbq-camp.html>, (参照 2020 年 7 月 29 日)

- 2) デジキュー「大阪鶴見緑地バーベキュー場・キャンプ場」

https://digiq.jp/tsurumiseseragi?utm_source=Yahoo!&utm_medium=CPC&yclid=YS.S.1000250655.EAiaIQobChMIi5mlnpD6gIVwVBgCh04vAO3EAAYASAAEgLnCD_BwE, (参照 2020 年 7 月 29 日)

- 3) 鶴見緑地指定管理者鶴見緑地公園スマイルパートナーズ「世界の花と緑に出会える大温室・咲くやこの花館」

<https://www.sakuyakonohana.jp/about/info/>, (参照 2020 年 8 月 1 日)

- 4) エルミオーレ「鶴見緑地乗馬苑」

<https://www.tsurumiryokuchi-joba.com/>, (参照 2020 年 8 月 3 日)

- 5) 鶴見緑地指定管理者 鶴見緑地公園スマイルパートナーズ「花博記念公園鶴見緑地」

<https://www.tsurumi-ryokuchi.jp/guide/bbq-camp.html>, (参照 2020 年 7 月 29 日)

箕面大滝について

国際観光学部 1 年 八島彩音

1. はじめに

箕面市^{みのおし}にある箕面大滝に注目した。本レポートでは箕面大滝とその周辺の施設、瀧安寺、サルに関する条例について明らかにしたい。

2. 箕面大滝・瀧安寺・サルについて

箕面大滝は紅葉の名所である。箕面市観光協会のホームページには、「荘厳な箕面大滝と紅く燃えるもみじの織りなす姿は絶景です」とある¹⁾。小さい頃から何度も紅葉シーズンになると箕面大滝を訪れてきたが、グラデーションのように紅葉しているところもあれば、真っ赤に紅葉しているところもある。毎年、写真を撮ることを目的として訪れる人やハイキング目的のために訪れる人など、たくさんの観光客が訪れる（写真 7-1）。ここ数年は、外国人観光客をよく見かけるようになった。

箕面大滝には、阪急箕面駅から徒歩約 1 時間で到着する。早くて 40 分程度で着く人もいる。滝の近くにはお店があり、鮎の塩焼きや子どもが喜ぶソフトクリームなどを食べることができる。お弁当を持参する家族も少なくない。滝を眺めながら休憩もできる（写真 7-2）。

箕面大滝に行く途中には、お店や昆虫館、宝くじ発祥の地と知られている瀧安寺^{りゅうあんじ}などがある。昆虫館では、子どもを対象にしたイベントが開かれているのをよく見る。箕面市観光協会によると、瀧安寺の本尊の弁財天は、「日本四弁財天の 1 つ」であり、「日本最初にして最古」と伝わるという。また、10 月 10 日に開催される『箕面富』は、当たりを得た者に身体健勝、家内安全、そして商売繁盛などの強いご利益をもたらすという。このため、この日は多くの参拝客でにぎわうそうだ²⁾。そして、滝道沿いには、あまり大きくはないが、箕面温泉を引く無料で利用できる足湯がある。滝道を登った帰りに、ハイキングで疲れた足を休めるため、多くの観光客が利用する。

箕面公園はサルが有名である。だが、最近はサルを見かけることは少なくなった。昔は、沿道で買った栗を持っているとサルに取られたという話もあったが、最近では聞かなくなった。昨年訪れた際は、紅葉シーズンで人が多かったこともあるが、サルを見ることはなかった。箕面市役所ホームページには、「箕面市では、人間とサルが共生していける環境を整備するため、箕面山に生息する野生のニホンザルが野生本来の生活を取り戻すことを目標に、ニホンザルへの餌やり行為を禁止する条例を制定し、平成 22 年 4 月 1 日から施行されています」とある³⁾。箕面の山にはサルだけでなく、鹿も生息している。また、夏になると蛍を見るために箕面大滝を訪れる地元住民もいる。

3. おわりに

箕面市には箕面大滝があり、多くの観光客が訪れる。写真を撮ることが好きな人や、ハイキングが好きな人におすすめである。そして、人間とサルが共存できる環境づくりのための条例があることを認識した。



写真 7-1 箕面大滝と紅葉 （撮影：八島彩音、2019 年 11 月 24 日）



写真 7-2 鮎の塩焼き （撮影：八島彩音、2019 年 11 月 24 日）

【参考文献】

- 1) 箕面市観光協会「紅葉」 <https://minohkankou.net/sights/area/kouyou/>,

(参照 2020 年 8 月 5 日)

- 2) 箕面市観光協会「瀧安寺」 <https://minohkankou.net/sights/area/ryuuannji/>,

(参照 2020 年 8 月 5 日)

- 3 箕面市役所.

「「箕面市サル餌やり禁止条例」が平成 22 年 4 月 1 日から施行されています」

<https://www.city.minoh.lg.jp/bunkazai/kinshijoureishikou.html#:~:text=>,

(参照 2020 年 8 月 5 日)

法隆寺とラングドン・ウォーナー塔

国際観光学部 1 年 藤村 利高

1. はじめに

法隆寺は、斑鳩町山内にある日本最古の木造建築である。JR 法隆寺駅から北へ約 1.7km にある。徒歩で行くには約 20 分かかる。今回はこの法隆寺について詳しく紹介していく。

2. 法隆寺

法隆寺のホームページによると、法隆寺は、聖徳太子によって推古 15 年（607）頃に完成した。法隆寺の境内に入るには『法隆寺の玄関』と呼ばれている南大門（写真 8-1）から入る。永享 7 年（1435）に焼失し、永享 10 年（1438）に現在の門が再建された。法隆寺内の伽藍がらんの配置として西院伽藍と東院伽藍の 2 つに分けられる。よく新聞や雑誌などで見かける、五重塔や金堂は西院伽藍に配置される。同サイトによると、五重塔は「五重目の軸部が初層の半分の大きさになっており、これに深い軒の出が相まって安定感を与えています」とある¹⁾。つまり真ん中の大きな軸が五重塔を支えており、これにより今までの大きな地震などが発生しても、倒壊を免れた。

西院伽藍に入るには中門から入るのだが、ここから大人 1500 円小学生 750 円がかかる。しかし、この入場券は西院伽藍と東院伽藍、さらに法隆寺境内にある博物館である大宝蔵院に入れるので、歴史が好きな人にはお得な券である。また、入場料を支払わなくても、無料エリアは広い。なかには有名な正岡子規の俳句『柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺』の石碑などが無料で見られるので、十分に楽しめるエリアもある。

3. ラングドン・ウォーナー塔

法隆寺の西大門から出て少し北の方向に歩くと、ラングドン・ウォーナー塔というのがある（写真 8-2）。ラングドン・ウォーナーとは、アメリカ、マサチューセッツ州生まれの美術史家である。ウォーナーは第二次世界大戦中奈良県や京都府の文化財を空襲対象から外すようアメリカに求めたと言われている²⁾。法隆寺がその対象であったため、ここにラングドン・ウォーナー供養等として置かれているのだ。

4. まとめ

今回紹介した法隆寺であったが、法隆寺は修学旅行などでも行ったことがあるかもしれない。しかし、法隆寺には約 1400 年の歴史があり、今現在でも当時の建物が残っている。歴史を感じることができるので、ぜひ再度行ってほしい。また、行くのならば 1500 円の入館券を買って時間をかけて見てみても面白い。さらに本論の中でも紹介したラングドン・

ウォーナー供養等にもぜひ行って欲しい。私は、ラングドン・ウォーナーが美術史家だからこそ、日本の文化財に魅了を感じたのではないかと考える。ウォーナーの努力があったからこそ、今現在の法隆寺があると言っても過言ではない。そんなラングドン・ウォーナーを一度調べて、実際に見てもらうのが今回のレポートの大きな目標だ。それとあわせて、隣の法隆寺に行くことでより魅力が分かるだろう。



写真 8-1 法隆寺南大門（撮影：藤村利高、2020 年 6 月 29 日）



写真 8-2 ラングドン・ウォーナー供養等（撮影：藤村利高、2020 年 6 月 29 日）

【参考文献】

- 1) 法隆寺.“法隆寺伽藍、五重塔” <http://www.horyuji.or.jp/garan/gojyunoto/>
(参照 2020 年 7 月 29 日)
- 2) 映像制作シネマボックス株式会社. “Warner List”
<https://www.cinemabox.jp/warner-list/> (参照 2020 年 10 月 14 日)

住吉大社について

国際観光学部 1 年 野口莉奈

1. はじめに

住吉大社は自宅から近く由緒ある神社で有名である(写真 9-1)。本レポートでは、住吉大社についての魅力に注目し、住吉大社の年中行事を紹介していく。

2. 住吉大社について

住吉大社のホームページによると、「全国に 2300 社ある住吉神社の総本社で、摂津国一之宮として崇敬をあつめ、年のはじめには 200 万人以上の参拝者が訪れます。緑に囲まれた境内には、国宝に指定された古代の建築様式を伝える四本殿をはじめ、住吉の象徴とされる反橋(太鼓橋)や多数の文化財、樹齢 1000 年を超える御神木など、悠久の歴史を感じる由緒深い神社です」とある¹⁾。

また、建築様式について、「四本宮は、第一・第二・第三本宮が縦直列、第三・第四本宮が横並列という独特の配列はあたかも大海原をゆく船団のように本宮がならび、古代の祭祀形態をよく伝える貴重な存在です」ともある²⁾。

住吉大社には住吉大社だけにしかない「太鼓橋」と言われる橋があり、「反橋」とも言われている。住吉大社に年末年始や夏祭りなどの行事ごとで行った際、太鼓橋の上は人で溢れかえるほど参拝客が多いと感じる。

住吉大社は相撲場所としても有名で、その時期になるとお相撲さんがいる。地元では、自転車に乗ってどこかへ向かっているお相撲さんを見かけることがある。地元の人から「頑張ってるね」と声をかけられているのを見たこともある。

3. 年中行事について

1 月 4 日の 13 時から小餅を大黒さんが投げる踏歌神事^{とうか}がある。同ホームページによると、「梅の若枝を持った蛭子さんが『ふくろもち』と呼びかけ、小餅を袋に入れた大黒さんが『おおともよ』と応え、互いに歩み寄ります。その後大黒さんは神前にて『ひ、ふ、み、よごと』と小餅を献じ、最後に『万歳楽』を三声することで納められます」とある³⁾。このお餅は「福の餅」と言い、このお餅を授かると幸福を得ると言われている。今年、1 月 4 日に参拝に訪れた際、この踏歌神事を目撃した。大黒さんが色々なところにおり、その周りにたくさんの参拝客が大黒さんを囲んでお餅を授かっていたのを見て、びっくりした。

住吉大社には神馬の白馬がいる。白馬がいるのは、大阪府の神社のなかではこの住吉大社だけある。1 月 7 日の 11 時に白馬神事というものがあり、各本宮を白馬の「白雪号」が巡拝した後、境内を駆け巡る。年初めに白馬を見ることは邪気が祓われると伝えられている。白馬神事当日のみに限定授与しているご朱印やお守り(竹駒守)を受けることができる。

昔、住吉大社に行った際に馬小屋の中に白馬おり、いつでも気軽に見ることができた。だが、最近では行事のあるとき以外、見かけることが少なくなった。

7月30日～8月1日の3日間で「住吉祭」が毎年開催される。この3日間は住吉大社の中が賑やかになる。近くの粉浜商店街の中も賑やかで、お店の前に小さな模擬店を出すお店があり、地元の人達も楽しんでいる行事の1つである。住吉大社を平日の何もない日に通ると、人気もなく、誰もいない感じがする。しかし、年末年始や夏祭りなど行事になった際は人気が多く、多くの人が南海電車・阪堺電車を利用して住吉大社に参拝に来ている。

4. まとめ

私の家の近くには住吉大社があり、行事ごとの時期になると、色々な人が住吉大社に訪れる。地元に住んでいる私でも知らなかった行事があり、改めて住吉大社の魅力を知ることができた。

【参考文献】

- 1) 住吉大社「住吉大社について」

<http://www.sumiyoshitaisha.net> (閲覧日 2020 年 7 月 29 日)

- 2) 住吉大社「住吉大社について」

<http://www.sumiyoshitaisha.net> (閲覧日 2020 年 7 月 29 日)

- 3) 住吉大社「年中行事」

<http://www.sumiyoshitaisha.net/events/> (閲覧日 2020 年 7 月 29 日)



写真 9-1 : 住吉大社 (撮影 : 野口莉奈、2020 年 11 月 10 日)

助松神社：神鶏のいる緑あふれる神社

国際観光学部 1 年 櫻井千恵

1. はじめに

泉大津市には紀州街道が通っている。マップを見ると、池上・曾根遺跡、田中本陣などの歴史的建造物や多くの神社がある（写真 10-1）。また、フェリー乗り場や工場夜景を見るスポットもある。私は地元の泉大津市にある観光地のなかから助松神社を紹介したい（写真 10-2）。この神社は「神鶏^{しんけい}」というニワトリが飼育されている点でたいへん珍しい。本レポートではこの神鶏たちに注目して、助松神社を紹介したい。



写真 10-1 泉大津市紀州街道マップ
（撮影：櫻井千恵、2020 年 6 月 15 日）



写真 10-2 助松神社
（撮影：櫻井千恵、2020 年 6 月 15 日）

2. 2種類の神鶏

助松神社内にある看板によると、2種類の神鶏たちが飼育されている。昭和16年1月27日に天然記念物に指定された「小国鶏」(写真10-3)と昭和11年9月3日に天然記念物に指定された「東天紅鶏」(写真10-4)である。南海100駅自慢のホームページによると、このうち「東天紅鶏」は放し飼いにされている。また、この神鶏たちは、ニワトリ好きの宮司さんによって、30年ほど前から代々飼われているものだという¹⁾。実際、私が助松神社を訪問すると、ここにいる神鶏たちは、人に慣れているので、近寄っても暴れたりすることはない。



写真 10-3 小国鶏

(撮影：櫻井千恵、2020年6月15日)



写真 10-4 東天紅鶏

(撮影：櫻井千恵、2020年6月15日)

3. 夏の夜店と緑あふれる神社

助松神社では、毎月6日・16日・26日に夜店が開かれる。夜店が多く出店するのは、夏の時期である。7月と8月の夏休みになると子供たちで賑わう。静寂な昼と賑わう夜とで、助松神社の2つの顔を見ることができる。夜店が開催される夏の時期に、一度足を踏み入れてほしい。

この神社は、木々があり、生き物がいる空間に私は非日常を感じ、私の癒しの場所となっている。私は電車を利用する際に、この神社の前を通るのだが、特に夏は木々が緑を増すからだろうか、不思議と惹き付けられて、つい見入ってしまう。まるで、アニメーション作品に出てきそうだ。きっと私が日々の生活に疲れを感じ、魅惑的なこの神社に癒し

を求めているからであろう。

4. おわりに

緑のある自然を近く感じられる場所に行きたいと思い、いつも目の前を通り過ぎている助松神社を訪問した。地元の観光地を調べてみて、自分の町にある何の変哲もない場所としか想定していなかった助松神社が、ゼミの発表のために調べてみて、珍しい場所であることに気づいた。あなたの住んでいる町にも珍しいものはないか、探索してほしい。もしかしたら、普段通り過ぎている場所で、新しい発見ができるかもしれない。

【参考文献】

NANKAI 公式サイト. “南海 100 駅自慢 北助松”.

http://www.nankai.co.jp/contents/e_project/nankai100/kitasukematsu.php,

(参照日 2020 年 7 月 29 日)

離れたから気づけた地元の魅力

国際観光学部 3 年 SA 岡崎風紗

新型コロナウイルスの拡大によって、我々の生活は一変した。出かけることさえまな
らず、不自由なことが増えた。しかし、こんな時だからこそ、あえて“日常”に目を向け
てみよう、渡辺ゼミでは前期の大阪フィールドワークの代替として、地元を散策するこ
ととなった。

私の地元は、世界遺産厳島神社のある広島県廿日市市^{はつかいち}である。私はここで、高校卒業ま
での 18 年間を過ごした。今にして思えば、地元の世界遺産があるなんて、あまりにも贅沢
なことであるが、この町を出るまで、もっと言えばこのような情勢となるまで、当たり前
すぎて、地元の魅力に目を向けようともしてこなかった。

そこで今回改めて、宮島へ散策に赴いた。フェリーターミナルを出ると、観光客は一様
に商店街へと続くメイン通りを通って、厳島神社を目指す。だが、私は、人通りの少ない
町家通りを通って、厳島神社の向かい、少し小高い場所にひっそりとそびえる、千疊閣を
目指す。これが私の個人的な定番コースだ。

町家通りを通るのは、何人もごみを避けたいという理由だけではない。この町家通りは、
その名の通り、今も昔の町家がそのまま残る実に趣深い通りなのだが、終盤に差し掛か
ると、五重塔が右前方に見えてくる。夏の青い空と五重塔の朱色、新緑の緑のコントラスト
が何とも言えない。目に映るすべてのものから島の人たちの日常を感じることができる穴
場なのだ。距離的には少し大回りであるが、この無駄足こそ、散歩の醍醐味なのではない
だろうか。

町家通りを抜け、木が生い茂る石段を登ると、千疊閣^{せんじょうかく}に到着だ（写真 11-1）。千疊閣は、
またの名を豊国神社という。ここは、豊臣秀吉の命により建てられたものなのだが、建設
中に秀吉が亡くなってしまったため、未完成のまま今もその姿を残している。正面には厳
島神社、背面からは廿日市の町を一望できる小高い場所にあり、360 度壁がないため、吹き
抜ける風が心地よく、立つ場所によってさまざまな景色を楽しむことができる。幼い頃、
初詣のついでに家族と訪れ、やけに気に入ってしまった。以来、宮島を訪れると必ずここ
にきて、何をするわけでもなく、座ってただただ景色を眺める。

近年は観光客が多すぎて、宮島から少し足が遠のいていたが、新型コロナウイルスの影
響で、久しぶりに静かで穏やかな宮島を味わえて、懐かしい気持ちになった。そして、千
疊閣からの眺めに、生まれ育った街の素晴らしさを改めて感じ誇らしく思えた。

大学進学とともにこの町を離れ、すっかり忘れていた。そんな当たり前に、突如として
奪われた日常の中で、気づくことができた。帰り道、数ヶ月前までまっすぐ歩くことさえ
ままならなかった。閑散としてしまった商店街の姿を見ながら、コロナウイルスの 1 日も

早い終息を願った。忘れていた身近にあるものの美しさや、それらに触れられる当たり前がいかに幸せなことであるかを、日常を取り戻せた後も、忘れずにいたいと強く思った。



写真 11-1 千畳閣からの眺め（撮影：岡崎風紗、2020 年 8 月 5 日）

長居植物園

国際観光学部教員 渡辺和之

来年の生き物文化誌学会は阪南大学でおこなうことになった。学会には巡検といって、全国から訪れる先生方を近くにご案内して学ぶ行事がある。来年の巡検は長居植物園に決まった。生物好きの先生方なので、きっと植物園で大阪の植物を学ぶのが良いと思ったからからである。それで、長居植物園には季節ごとにどんな花が咲くのか、私は1年間観察することにした。このレポートでは、長居植物園はどんな場所であるのか、実際に何度か行ってみてわかったことをレポートしたい。

長居植物園は大阪では鶴見緑地と並んで大きな植物園である。大学からも近く、天王寺からは御堂筋線で中百舌鳥方面に3駅行った長居駅から徒歩5分、近鉄南大阪線の矢田駅からだと徒歩20分程度である。河内天美駅からでも自転車があれば20分程度でゆけるだろう。

長居公園は大きな公園で、陸上競技場や野球場がある。公園には、1周すると3キロになるランニングコースがある。ここにはいつ行ってもマラソンをめざす市民ランナーがたくさん走っている。長居植物園はその中心部の東半分を占める。植物園の入口はランニングコースから奥まった場所にある。入場券を買う建物入口には鉢植えのランの花がある。建物のなかには食事のできる喫茶フォレストや大阪の自然誌を紹介するコーナーがある。後者は大阪府の動植物を手早く学ぶことができる。資料はなかなか充実しており、しかも無料であるのでぜひ行ってみることをすすめる。そう大きくないフロアーの一画である。10分もあれば見終わると思ったが、気が付くと、1時間も見入ってしまった。

長居植物園の入場料は大人200円である。わたしは1年間、毎月通うと決めたので、1000円の年間パスポートを買うことにした。5回で元が取れるのである。入場券売り場では見頃の花の位置を掲載した開花情報のパンフレットが置いてあるので、ぜひ持ってゆくとよい。ウェブからもダウンロードできる¹⁾。開花情報は月に1・2回程度更新しているようである。荷物は入場券の販売所の前にコインロッカー（無料）で預けることができる。

入口を入ってすぐの所には大きな丸い花壇がある。ここは季節の園芸植物の花々が冬でも咲いている。カラフルな花壇である。植物園の中央には大きな池がある。冬には白鳥が飛来する場所である。大きな亀も泳いでいる。亀や白鳥にパンをあげるおばちゃんもいる。聞くと、よく来ているとのこと、いつもパンを持ってくるのだという。

池を左手に園内を反時計方向にまわる。冬ならばツバキの花が右手に咲いている。これを過ぎると、右手にバラ園がある。5月頃は色とりどりのバラが咲き誇る。バラ園の奥にはハーブ園とキッチンガーデンがある。初夏、ハーブ園にはラベンダーなどの花が咲く。キッチンガーデンにはトウモロコシやキウイなどの野菜や果物が植えてある。夏はヒマワ

りの花も咲くという。シャクヤク園を抜けて奥へ行くと、マンサクの花がある。3月には黄色い花が咲く。その奥にはシャクナゲ園がある。4月には赤や黄色の花が咲く。その奥にはアーモンドがある。3月には桃の花のような花が咲く。ここからメタセコイアの並木道を通ると、アジサイ園に出る。6月にはさまざまなアジサイが咲き誇る場所である。アジサイ園を過ぎると、春は桜や梅が咲いている。池の脇にはスイレンやハスが浮かんでおり、6月終りから7月には白やピンクの花が咲く。その脇のハナショウブ園を見るなら5月上旬から中旬がよい。このあたりは、4月になると、桜のあとにハナショウブのピンクの花が咲く。

園内は広くベンチなどもたくさんある。飲食施設や売店もあるが、シートを引いてお弁当を食べる家族連れやカップルもいる。屋外なので、3密にならない点もよい。2020年の緊急事態宣言の時には休業したが、解除後はすぐ再開した（写真12-1）。隣の自然史博物館とセットでゆくと、丸1日がかりのコースとなる。植物園だけでも、ゆっくりまわると、2-3時間はかかるだろう。

【参考文献】

1) 長居植物園「開花情報」<https://www.nagai-park.jp/n-syoku/flower.html>（最終閲覧日：2020年7月29日）

【追記】長居植物園の掲示板によると、2008年に来園したコブハクチョウ2羽は、水生植物保護網の事故で2020年4月25日に死亡した。また、喫茶フォレストは花と緑の情報館の天井工事に伴い、8月30日に閉鎖したとのことである。



写真 12-1：コロナに負けない長居植物園（撮影：渡辺和之、2020年6月23日）。

あとがき

10人でやれば、3週間分くらいになるだろう。そして、7月になって大学に通学できるようになったら、教室でゼミをすればよい。今だから言うが、この企画は、当初、6月だけの間持たせのつもりではじめた。

だが、それなりにおもしろかったのは、先に記したとおりである。私自身、鳥取砂丘や道後温泉はおろか、大鳥大社も、助松神社も行ったことがない。鶴見緑地の山のエリアや花園公園はおろか、てんしばですら、知らなかったのである。箕面の滝は一度だけだし、法隆寺は中学校の修学旅行以来ご無沙汰かもしれない。住吉大社に白馬がいることはまったく知らなかった。読者の方々はいかがであろうか。

以下、コロナ禍における7月以降のゼミの後の動向を記しておきたい。

7月1日、対面授業がゼミを含む一部少人数授業で解禁となった。大学の教室でゼミをすることができるようになったのである。1年生たちの喜びはひとしおではなかったのだろう。女子学生たちは規則上、机1つずつの間隔をあけながらも、ぴったりとくっついていて、窓を大きく開放して、ちっともエアコンが効かない教室であったが、お互い、ラインを交換し、おしゃべりをし続けていた。

対面授業が再開してからは、5月に行くはずだった大阪フィールドワークの計画をたてた。図書館で資料を借りてきて、3班にわかれ、行きたい所のプランを立てることになった。私がつけた条件は、①できれば環状線の外側、②屋外であること、③大学から近いことが望ましいの3点であった。大学の近くというのは、ゼミの時間に往復ができれば、いざとなれば、平日にフィールドワークにゆけるからである。

対面授業が再開しても、フィールドワークが再開できるとは限らない。大学がクラブ活動やゼミ活動を含む課外活動の許可を解禁していないからである。ただ、いずれ解禁するだろうとの読みはあった。第2波が夏に来たとしても、9月頃にはまた収束するだろう。それからインフルエンザシーズンのはじまる11月頃までがチャンスである。今からできることを決めておけば、きっとその時期が来たら、すぐ動けるだろう。そう学生たちを説得した。幸い、大阪フィールドワークの候補地は、3週間で3案がそろそろまではこぎつけた。

その後、7月中旬になり、大阪府の感染者は再び増加した。今度はクラスターが特定できない市中感染者や若者の感染者が多くなった。阪南大学からも数人の感染者が出て、ゼミを含むすべての授業は前期終了まで遠隔授業に戻った。「フィールドワークなんて無理」と上級生たちはあきらめていたが、第1波が収まった状況がやってくると私は信じていた。

9月中旬、チャンスは訪れた。東京の外出制限はなくなり、大阪の感染者も1日あたり100人を下まわる日が続くようになった。大学は7月同様、ゼミを含む少人数のクラスは対面での授業を許可した。また、9月24日まで出ていた課外活動の禁止は解除され、9月25日の後期開始からは、宿泊と夜の夕食の禁止や感染防止対策を取るなどの条件付きだが、

日帰りでのフィールドワークが解禁となった。学部からは大阪フィールドワークの分と後期のフィールドワークの予算はとってあるので、両方行ってもよいとの方針が示された。

コロナ禍は、ペストやコレラなどの他の感染症が流行した時と同様に、われわれの社会を大きく変えることだろう。実際、すでに遠隔授業などという新しい経験が大学のなかに急速に浸透した。とはいえ、何でもテレワークで済むものでもない。観光情報は電子的に伝えることはできても、観光経験は違う。行く前に調べたり、帰ってから伝えることはオンラインでできても、旅する経験はオンラインではできない。

それに何よりも、ステイホームはストレスがたまる。一日中パソコンを見ていると、目がしょぼしょぼするし、肩が凝る。ずっと家にいると、ちょっと外出しただけでも疲れる。学生にしても、課題ばかりでは疲れるだろう。そんな時こそ、フィールドワークである。いざとなったら、フィールドワークとは呼ばず、散歩と言えよ。大学に通学できるのであれば、近くを歩く分には、問題ないはずだ。

今年の秋は、第2波と第3波の間の貴重な谷間を有効利用したいと思う（渡辺和之）。



写真 13-1 教室で固まるゼミ生（撮影：渡辺和之、2020 年 10 月 14 日）

++++
渡辺和之（編）『2020 年度前期大学入門ゼミ報告書：わが街のお気に入りスポットを共有する：コロナ禍における遠隔フィールドワーク』阪南大学国際観光学部渡辺研究室 2020 年 12 月 30 日発行 〒580-0033 大阪府松原市天美南 1-108-1 阪南大学国際観光学部
電話：072-332-1224 メール：watanabe@hannan-u.ac.jp URL <https://www.hannan-u.ac.jp/>
++++